

交流セッション プログラム

7月16日(土) 1日目 第4会場 / 3F会議室 304

●交流セッションⅠ 10:30~11:30

「赤十字のスケールメリットを活かした教育とCNSの連携ビジョン」

高度実践看護教育のこれから —まずは精神看護から—

主催者：山田 典子（日本赤十字秋田看護大学）

●交流セッションⅡ 13:00~14:00

「災害における訪日・在留外国人の現状と課題」

グローバルヘルス・医療通訳の必要性の視点から

主催者：日本赤十字看護学会国際活動委員会

●交流セッションⅢ 14:30~15:30

「ワンセットケア [熱布バックケア+腹臥位] のわざお伝えします！」

主催者：殿城 友紀（日本赤十字看護大学）

●交流セッションⅣ 16:00~17:00

「COVID-19禍、接触制限のある中で「心地よい」を目指した看護実践」

2年間の体験をともに語ろう

主催者：日本赤十字看護学会臨床看護実践開発事業委員会

7月17日(日) 2日目 第4会場 / 3F会議室 304

●交流セッションⅤ 10:00~11:00

「時を超えて甦る〈赤十字の記憶〉」

コロナ禍のいま、赤十字の感染症対策の歴史を振り返る

主催者：日本赤十字看護学会歴史研究委員会

●交流セッションⅥ 11:30~12:30

「中長期における災害看護活動の人材育成」

赤十字の看護職への期待

主催者：日本赤十字看護学会災害看護活動委員会